

2018年4月27日

各 位

会社名 株式会社スターフライヤー  
代表者名 代表取締役社長執行役員 松石 禎己  
(コード番号：9206 東証第二部)  
問合せ先 取締役常務執行役員 柴田 隆  
(TEL 093-555-4500)

### 中期経営戦略2018年度ローリング版の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、中期経営戦略2015～2020「“らしさ”の追求2020」について、2018年度ローリング版を決議いたしましたので、お知らせいたします。

以上

Number : 18K004  
 2018年4月27日

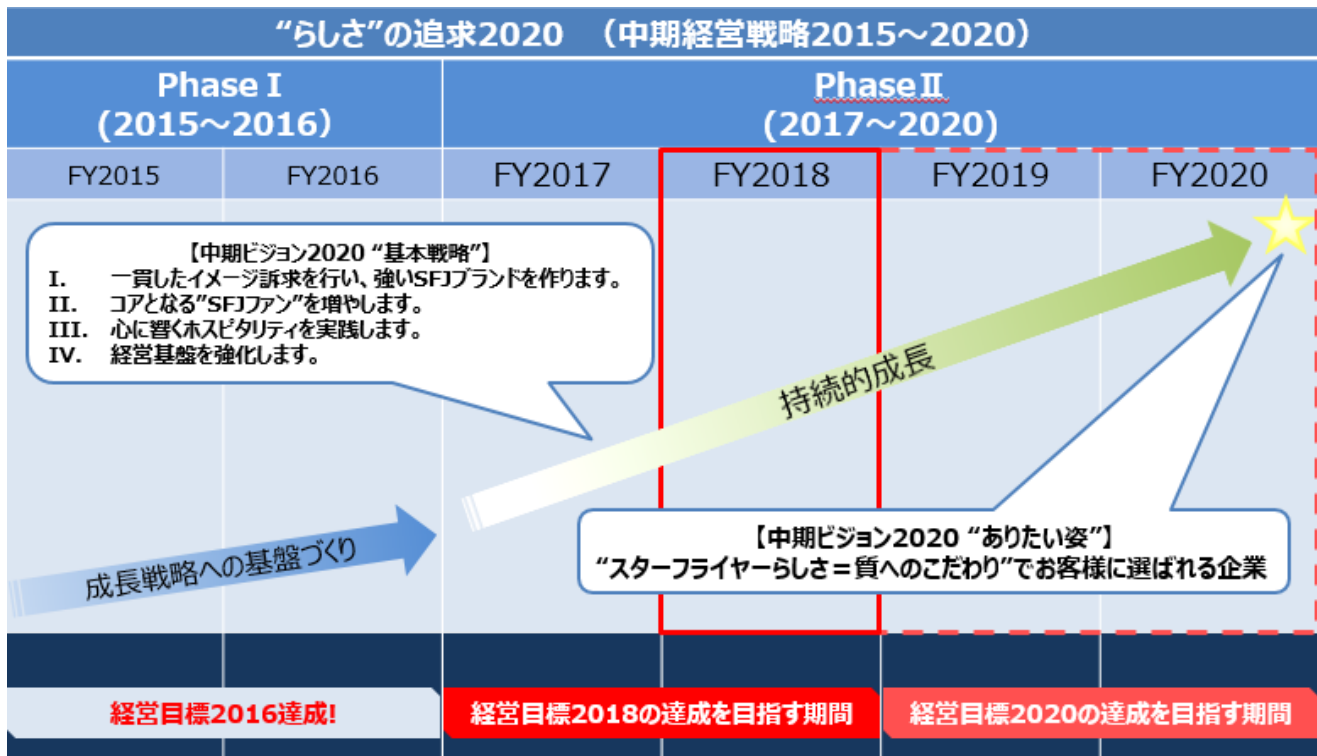
## 中期経営戦略「らしさ」の追求2020」2018年度ローリング版策定のお知らせ

株式会社スターフライヤーは、中期経営戦略「らしさ」の追求2020」2018年度ローリング版を策定いたしました。

2015年5月の初版策定以降3回目のローリングとなる今回は、昨年度までの各種取り組みの結果や新たな課題、外部環境や今後の見通しの変化などを踏まえつつ、2018年冬季ダイヤからの国際線再参入をより意識した内容に進化させております。引き続き、「スターフライヤーらしさ」を追求し質にこだわることでお客様に選ばれる企業」を目指し、先行き不透明かつ変化が激しい環境下においても、中期ビジョン2020の実現に向け、本中期経営戦略に基づき一歩ずつ着実に進んでまいります。

中期経営戦略「らしさ」の追求2020」2018年度ローリング版の概要は、以下のとおりです。

(1) 持続的成長により、中期ビジョン2020の実現を目指します。



(図1) 「らしさ」の追求2020」2018年度ローリング版イメージ図

(2) 2017年度実績・2018年度計画・2019年度目標・2020年度目標は、以下のとおりです。

	2017年度 実績	2018年度 計画	2019年度 目標	2020年度 目標
営業収入 (百万円)	38,095	39,700	42,500	45,500
営業利益 (百万円)	2,870	1,200	1,000	2,500
経常利益 (百万円)	2,733	1,100	900	2,400
当期純利益 (百万円)	1,878	1,000	700	1,400
売上高営業利益率 (%)	7.5	3.0	2.4	5.5
ユニットコスト※1 (円/座席キロ)	11.5	11.6	11.0	10.8
純資産額 (百万円)	8,116	9,000	9,600	11,000
ネットD/Eレシオ (倍)	3.1	3.4	2.9	2.0

※1 ユニットコストは燃料費を含みます。

(3) 中期ビジョン2020の実現に向けた基本戦略は、以下のとおりです。



(図2) 第二階層の全体像

## I. 一貫したイメージ訴求を行い、強いSFJブランドを構築

昨年度は、「SFJブランド」について更なる社内浸透を進めるとともに、国内ビジネス路線向けタグライン「輝く人の、STARFLYER」および提供価値キーワード「スマートラグジュアリー」を設定し、市場に対して更なるイメージ訴求を行いました。今年度は、那覇線・台北（台湾桃園）線などの路線に応じた新たなイメージ訴求を行います。

## II. コアとなる“SFJファン”の増加

昨年度は、搭乗前日のメール配信サービス、iPhone Passbook への二次元バーコード表示対応を開始しました。引き続き、お客様にとって分かりやすく、シームレスなカスタマーエクスペリエンスの環境整備に取り組みます。また、昨年度実施した顧客ニーズ・マーケットの分析結果に基づき、台北線ではSFJらしいサービス、ゆとりある座席空間を付加価値として認めていただける「品質志向型のレジャー層」をメインターゲットとして、販売およびプロモーションを展開します。

## III. 最上級のホスピタリティ

リニューアルした自社カウンターまわりの利便性向上や機内美化、ドリンクや機内エンターテイメントの質の向上、そして、Phase I で実施した「お客様視点のおもてなし」の更なる強化により「JCSI（Japanese Customer Satisfaction Index）<sup>※2</sup>」の「国内長距離交通業種（国内航空）」で9年連続顧客満足度第1位の評価をいただくことができました。今年度は、お客様一人ひとりに対するおもてなしを進化させるなど、弊社サービスの更なる質的向上を進めるとともに、台北線においても“個性際立つスターフライヤーサービス”の認知と確立に向けた取り組みを本格化します。

※2（財）日本生産性本部サービス産業生産性協議会による日本版顧客満足度指数

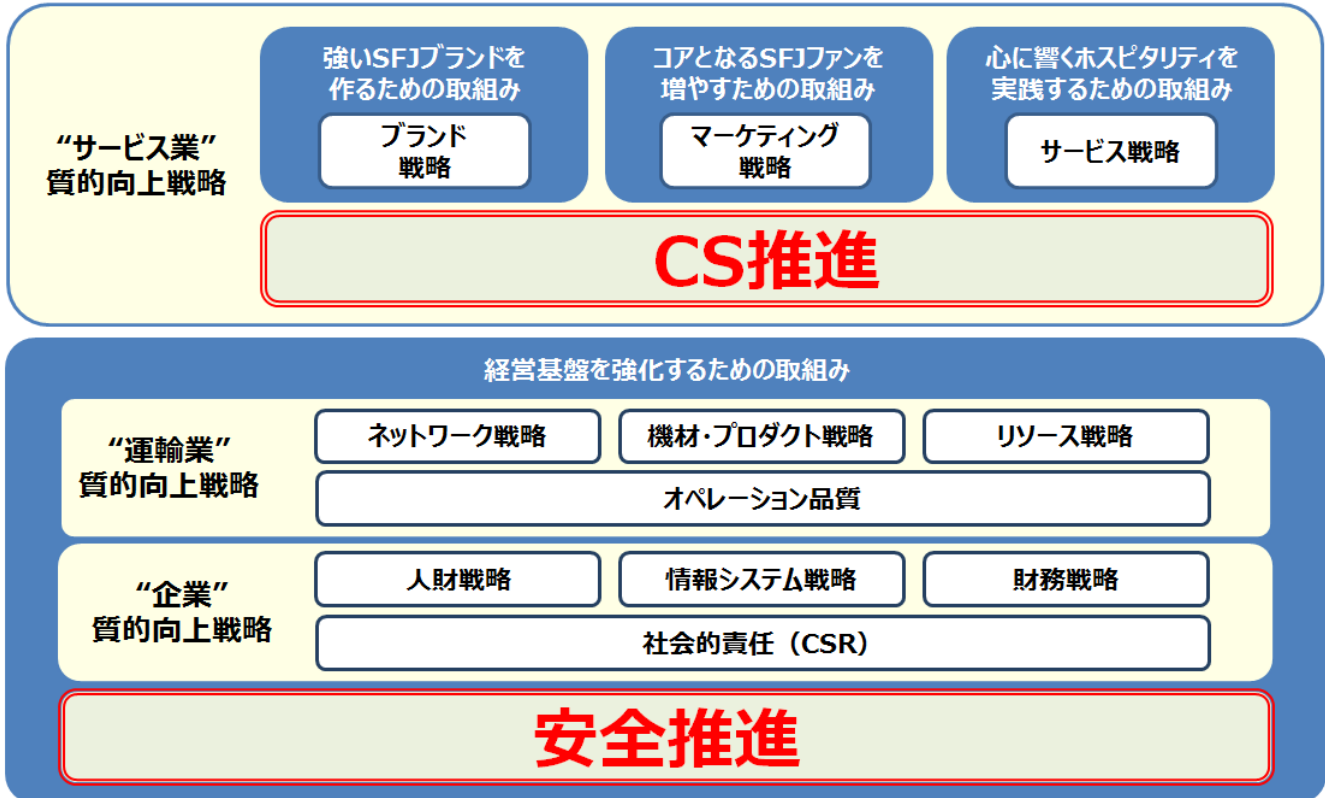
## IV. 経営基盤の強化

中期ビジョン2020の達成に向けて、Phase II 初年度においても一定度の成果を得ることができました。本中期経営戦略の後半は、激しい環境変化に耐えうる財務基盤の強化と強固な利益体質の構築を継続しつつ、「攻める経営」により持続的成長を目指します。なお、今年度は、昨年7月に初就航した北九州－那覇線の継続運航<sup>※3</sup>ならびに2018年冬季ダイヤからの北九州・福岡・名古屋（中部）－台北線の国際3路線同時開設など、更なる運送事業の拡大に向けて取り組みます。

一方で、昨年度実施した「コンプライアンス宣言」に基づき、企業としての質的向上のために、コンプライアンスやリスク管理の更なる強化を図ります。また、今年度も引き続き、働きやすい職場作りのために、「働き方改革」と「ワークライフバランス」を推進するとともに、社会への貢献、地域への貢献を継続して実施し定着を図ります。

※3 現時点では、2018年5月7日までの期間ならびに7月13日から10月27日までの期間限定運航の予定

(4) 上記基本戦略に基づき、各種取り組みを推進します。



(図3) 第三階層の全体像

中期経営戦略2015～2020の詳細は、下記のスターフライヤー公式ホームページより、「中期経営戦略『“らしさ”の追求2020』2018年度ローリング版」をご覧ください。

【スターフライヤー 公式ホームページ】

<https://www.starflyer.jp/starflyer/corporate/mid-term-plan.html>

これからもお客様にご満足いただけるようサービスの向上に努めてまいります。新たなスターフライヤーにご期待ください。

以上